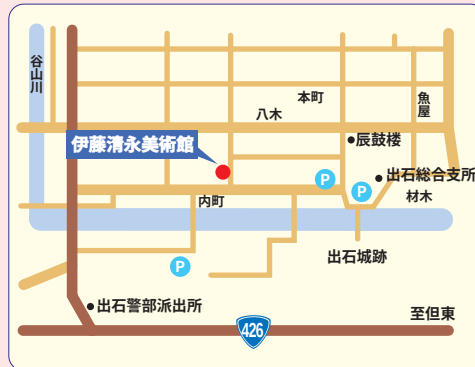


お出かけください 文化施設巡り 2

このコーナーでは、豊岡市立の文化施設を巡り、紹介します。

感動と心やすらぐひととき

伊藤清永美術館



- 所在地 豊岡市出石町内町98 ☎52-5456 FAX53-2088
- 開館時間 9:30~17:00 (入館は16:30まで)
- 休館日 毎週水曜日(祝日・休日の場合は翌日)、
年末年始(12月28日~1月4日)
- 入館料 大人500円、高校大学生300円、小中学生 無料
- ホームページアドレス <http://www.itoh-museum.jp>



当館職員の橋本有加が
ご案内します。

伊藤清永美術館は、昭和62年の町村合併30周年記念事業「伊藤清永展」の開催を契機に、伊藤清永画伯をはじめ、有志の方からも数多くの作品の寄贈を受け、その作品を収蔵・展示するために建設したもので、平成元年11月に開館しました。

当館は、瓦の大屋根の下にある小さな倉を基本コンセプトに、周りの景観と合わせた木の温もりのある造りとなっています。寄贈を受けた絵画や資料を収蔵・常設展示し、郷土の偉人を顕彰するとともに、市収蔵の美術品を公開展示する企画展など、優れた芸術にふれる機会を提供する、歴史と文化の香るまちにふさわしい美術館です。

また、ミュージアムコンサートや各種実技講座などを開催し、地域の方々が気軽に芸術に親しむ輪を広げています。皆さん、ぜひ、お越しください。
※3月7日~4月7日「わたしが選んだちひろ展 in 豊岡」を開催します。

伊藤清永プロフィール



明治44年、出石町下谷に生まれ、日本美術展覧会と白日会(写実を基本とした美術団体)を中心に活躍した文化勲章受章の洋画家です。後年は、繊細な色線を無数に重ねて描き出される豊麗優美な裸婦像で知られています。

日本洋画壇の重鎮である岡田三郎助の薫陶を受け、東京美術学校(現東京芸術大学)在学中の昭和8年、第14回帝国美術院美術展覧会に初出品、初入選。昭和11年、文部省美術展覧会で選奨を受賞、白日会会員となり画家としての道を確立しました。

70年近い画業の中で、一貫して女性美の表現技法を追求し、温かみのある独自の画風を築いて観る人を魅了しています。

平成13年、軽井沢のアトリエで急逝(90歳)し、制作中の「ばら」数点が絶筆作品となりました。



▲オープンギャラリー

喫茶室へ通じるオープンギャラリーは外からも鑑賞でき、小学生や受講生の小品展に利用。気軽に楽しめて好評です。



▲2階主展示室A

画業の足跡をたどれるよう代表作を展示。苦学していたころ、捨てられたキャンパスの裏に描いた展覧会出品作もあります。



▲ホール

左側の受付で職員が対応します。ミュージアムグッズの販売もしています。来館記念にぜひどうぞ。



▲展示室B

R型天井がシンボリックな展示室。ケース内の「母の肖像」は観る人の心を打つ一枚の絵として常設展示しています。